

いつもと違う新学期を迎えて

校長 加藤 明良

校内の枝垂れ桜が満開を迎え、まさに春爛漫の季節となりました。残念ながら、世間は新型コロナウイルスの脅威に完全に飲み込まれています。そんな中、本校では236名の新入生を迎え、令和2年度新学期が始まりました。2・3年生は、校庭での始業式となってしまいましたが、それぞれ進学・進級したことを自覚し、新しいクラス、新しい学年で気持ちも新たに学校生活に取り組んでください。

さて、今年度から学校の教育目標、めざす学校、生徒像を以下のように新しく設定しました。

○学校教育目標：未来へ、よりよく生きる

○めざす学校像：生徒・教職員一人ひとりの自己実現が図れる学校

○めざす生徒像：よりよく生きる生徒

みなさんが、社会に出て活躍する十年後、二十年後の未来はどんな世界になっているのでしょうか。人口知能AIをはじめ、科学技術が一層発達し、人々の生活はより豊かになっていくのでしょうか。一方で経済的格差や温暖化が進行し、これまで以上に厳しい世界になっていくのでしょうか。今世界で猛威を奮っている新型コロナウイルス感染防止について、こうすれば絶対大丈夫という正解がないために大変な事態が世界各地で起きているのだと思います。人類の持つこれまでの様々な知見を総動員し、世界中の科学者たちが協力し、そして、世界中の政治家を始めあらゆる人たちが今得られる正しい知識をもとに、自分たちで考えられること、実行できることなど真剣に取り組んでいるのです。まさに、現時点でみんながそうだと納得できる答え、いわゆる納得解が求められているのです。これまでの知識や経験が通用しない、変化がますます激しくなる未来社会、その未来を創っていくのは、君たちです。現状より、少しでもよりよい社会を創る担い手として成長していくことができるように、本太中学校でその基盤や基礎を培ってほしいと願っています。そんな意味をこめた学校の教育目標をぜひ、意識してこれからの中学校生活を送ってください。

保護者、地域の皆様、創立72年目を迎える令和2年度も、教職員一同できる限りの英知を結集し、本太中学校生徒のために全力で取り組んでまいります。何卒御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。